

令和元年度 建設経済部 重点施策の実施結果

達成状況

- S … 目標を上回る結果となった
- A … 目標通り達成した
- B … 達成したが課題が残っている
- C … 達成できなかった

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営基盤の強化を目指し、本年度も5名が農地転換費用軽減支援事業を活用し、基幹作物(茶)から高収益作物へ転換しました。茶業においても茶園集積を進め生産性の向上を図りました。引き続き、経営基盤の強化を図るため各種事業を進めてまいります。また、地域おこし協力隊を委嘱しましたので、市の農業を始め様々な情報発信に努めてもらうように連携を取っていきます。 ・ 働く場の確保のために工業用地の検討を進めましたが、様々な課題がありますので、引き続き検討を進め方向性を決定します。 ・ 災害に強いまちの整備や良好な住環境の整備を進めるため耐震改修促進や橋梁・トンネル等の長寿命化を計画的に進めてまいりました。住宅の補強計画や補強工事は目標値以上に進めることができましたので、引き続きPRを行い耐震化率の向上を進めてまいります。また、道路整備についても道路ネットワークの整備を進め、交通の円滑化や安全で安心な交通空間の確保に努めてまいります。
----	--

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1	複合経営の推進	農業経営基盤の強化のため、基幹作物と高収益作物との複合経営を推進し、農地の1反当たりの年間収入を上げる取り組みを実施することで農地の有効利用を図り、安定的な農業経営の推進に取り組めます。	令和2年3月末までに転換作物による所得向上者が5名以上となるよう推進します。 (平成30年度実績: 5名)	A	農地転換費用軽減支援事業において5名の生産者より補助申請がありました。茶から下記作物への転換を図るため所得増と判断します。 ＜転換後作物＞ かぼちゃ1名、ブロッコリー1名、レタス1名、メキャベツ1名、オリーブ1名
2	農業女子が輝ける菊川プロジェクト	市内で女性の就農支援体制づくりを進めるため、地域おこし協力隊を活用し、農業の新たな魅力の掘り起こしや情報発信を行います。	令和2年3月末までに「地域おこし協力隊」による情報発信をHPで実施します。	A	3名の応募者の中から1名に「地域おこし協力隊」を委嘱することを決定しました。令和2年2月から活動を開始し、市のホームページのほかブログやツイッター等での情報発信を実施しました。

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
3	茶園集積の推進	小区画・分散茶園について、面的集積による生産性の向上を図るため、農地中間管理機構と連携した茶園の集積を進めます。	令和2年3月末までに、農地中間管理事業により1.4ha以上の茶園集積を実施します。	A	和田地区において農地中間管理事業により茶生産者が1.43haの茶園集積と茶園集積推進事業を活用した茶園整備を実施しました。 今後も、菊川市茶業振興計画の重点事業に掲げる「茶園集積による生産性の向上」を図るため、農地中間管理事業を活用した茶園集積を推進します。
4	菊川茶の振興	若手生産者への加工技術の継承と深蒸し茶産地としての知名度や産地力の向上を図るため、国や県が主催する茶品評会への出品を推進します。	令和元年10月末までに15団体の出品を推進し、報奨金を支払います。 (平成30年度実績: 7団体)	B	全国茶品評会に9団体(9点)、静岡県茶品評会には6団体(6点)の計15団体(15点)が深蒸し煎茶の部に出品されました。報奨金の受付審査に時間を要した為、支払は令和元年11月21日となりました。なお、翌年度以降の速やかな受付審査と報奨金の支払いを目指します。 今後も多くの出品をしてもらえるようにJAや茶業委員会と協議を行い、出品者への支援を行ってまいります。
5	新たな工業用地の検討	平成30年度に開発の可能性を調査した工業用候補地について、関係各課や用地関係者との調整等を図り、事業化に向けた検討を行います。	令和2年3月末までに、事業化に向けて検討する工業用地を決定します。	B	平成30年度に実施した「工業用候補地検討調査」の5箇所から、販売価格や立地条件等を相対的に判断し、造成候補地を決定しましたが、県企業局との協議や施工方法の検討等の課題があります。
6	地域資源を活かした観光の推進	平成30年度に作成した観光情報誌を活用し、地域資源を活かした観光情報について市外へ積極的に情報発信します。	令和2年3月末までに、「るるぶ」を活用し、年間を通じて予定する市外県外イベント等でPR活動を実施します。	S	平成31年2月より配布を開始した観光情報誌「るるぶ特別編集版菊川市」は令和2年3月末までに25,778部の配布を行い、菊川市外に向けて市の魅力を情報発信しました。令和元年度における予定配布部数を超過したことにより、次年度配布分に不足が生じたため令和2年1月に10,000部の追加増刷を行いました。引き続き菊川市のPR活動を実施してまいります。

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
7	災害に強いまちの整備「耐震改修促進」	昭和56年5月31日以前の旧基準で建築された既存住宅の耐震性を向上させるため、耐震診断や耐震補強計画、耐震補強工事に対する補助を行います。危険性のあるブロック塀の撤去に対する補助を行います。	令和2年3月末までに、次の目標を達成します。 耐震診断 25件(13件) 補強計画 10件(10件) 補強工事 10件(11件) ブロック塀撤去 15件(55件) (括弧内は平成30年度実績)	B	補強計画は、目標値10件に対して実績14件、補強工事は、目標値10件に対して実績14件であり、既存住宅の耐震性向上に直接寄与する両事業については、いずれも目標を上回りました。 また、ブロック塀撤去は、目標値15件に対して実績30件であり、目標を大幅に上回りました。 耐震診断は、目標値25件に対して実績13件で、ここ数年、申請件数が伸び悩んでいることが課題ですが、対象者へのDM送付や戸別訪問等による周知の結果、既に次年度の耐震診断の希望が14件寄せられている状況であり、次年度以降も、TOUKAI-0事業の周知等の推進により目標達成を目指します。
8	(都)青葉通り嶺田線の整備	交通の円滑化や安全で安心な交通空間の確保を図るため、都市計画道路青葉通り嶺田線の現工区の整備を完了させます。また、牛淵川架橋の小松洗橋等の設計と関係機関との協議を行います。	令和2年3月末までに現工区である、(都)平川公園通り線より東側L=413mの区間の整備を完了します。 小松洗橋関連業務委託を完了します。	A	青葉通り嶺田線現工区の整備413m区間については令和2年2月21日に完了しました。 また、小松洗橋関連業務委託は、令和2年3月17日に業務完了しました。
9	道路ネットワークの整備「赤土高橋線・大須賀金谷線」	赤土高橋線については、工事・用地取得・物件移転補償を進め、早期の供用開始を目指します。 大須賀金谷線については、工事・用地取得・物件移転補償を進め、事業の推進を図ります。	令和2年3月末までに、両路線とも、道路築造工事、用地取得、物件補償を行い、令和元年度交付金事業を完了します。	B	赤土高橋線は予定していた35.5mの道路築造工事は11月に完了し、用地買収、物件補償については価格の時点修正等を実施しましたが、交渉が難航しており、契約に至っていません。引き続き粘り強く交渉を行ってまいります。 大須賀金谷線については予定した建物他3件の移転補償と606.69㎡の用地買収及び164.4mの道路築造工事が完了しました。

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
10	長寿命化の推進 「橋梁・トンネル等」	修繕計画の策定、橋梁の点検などを行い、計画、点検結果に基づき耐震補強や修繕を実施し、橋梁・トンネル等の長寿命化を図ります。	令和2年3月末までに、個別施設計画を策定します。 また、橋梁に係る点検、設計及び補修工事を行い、令和元年度交付金事業を完了します。	A	橋梁等の個別施設計画の策定及び長寿命化事業の事業費の平準化を実施したほか、橋梁定期点検により65橋の評価を実施しました。 観音橋ほか5橋の橋梁について、修繕工事を実施し長寿命化を図りました。 引き続き、繰越工事となった三沢橋・矢崎橋の補修工事を、今後も適切に事業を進めていきます。